xfs（フォントサーバ）を使用している Linux（Red Hat Linux 7.3 や Vine Linux 2.5 など）で、Windows 用 TrueType フォントを使う方法

1. フォントファイルを専用のディレクトリにコピーする
2. 設定ファイルに新しいフォントのディレクトリを追加する
3. xfs を再起動する

■ 1. フォントファイルを専用のディレクトリにコピーする

まずは、TrueType フォント用のディレクトリを作成する。
Red Hat Linux の場合

```
/usr/share/fonts/ja
```

の下に、Vine Linux の場合は

```
/usr/X11R6/lib/X11/fonts
```

の下に作成するようになっている。

```
# cd /usr/X11R6/lib/X11/fonts/
# mkdir WinFont
# ls
100dpi  CID  Speedo  TrueType  WinFont   encodings  local  util
75dpi   PEX  TTF     Type1     cyrillic  japanese   misc
# cd WinFont
# cp /tmp/CitrusFruits.ttf .
```

■ 2. 設定ファイルに新しいフォントのディレクトリを追加する

設定ファイルを編集する。xfs の設定ファイルは /etc/X11/fs/config

```
catalogue = /usr/X11R6/lib/X11/fonts/misc:unscaled,
        /usr/X11R6/lib/X11/fonts/75dpi:unscaled,
 （省略）
        /usr/X11R6/lib/X11/fonts/japanese,
        /usr/X11R6/lib/X11/fonts/WinFont,  ←この行を追加
 （省略）
```

■ 3. xfs を再起動する

```
# service xfs restart
```

http://www.atmarkit.co.jp/flinux/rensai/linuxtips/321usettxfs.html